

油圧作動油③〔日本工業規格 JIS外〕

省エネ改正法により、工場・事業所ごとにエネルギー消費原単位で年平均1%づつの低減が義務づけられた。

また、平成14年6月より消防法の危険物分類が見直されて引火点250℃以上の潤滑油が、指定可燃物となり危険物の取り扱いから外れることになり各社から新製品がでた。

《高引火点(可燃性液体)型作動油の特徴》

①摩擦緩和剤等の配合による省エネルギー。

②引火点250℃以上の非危険物扱い。

《最近の動向》

①大型油圧装置に使用が増えている。

【省エネルギー・高引火点型・耐摩耗性油圧作動油】

粘度区分 ISO VG	JXエネルギー	出光興産 (ダフニー)	コスモ石油	シェル石油	エクソンモービル	
22	スーパーハイランド SE-22	スーパーハイドロ ST-22				
荷姿	20L 200L					
32	スーパーハイランド SE-32	スーパーハイドロ ST-32	スーパーエポック ES-32	テラス S4 ME-32	※2 モービルSHC 524	
可燃性液体類	SE-P32	HF-32	UF-32			
荷姿	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	
46	スーパーハイランド SE-46	スーパーハイドロ ST-46	スーパーエポック ES-46	テラス S4 S4 ME-46	モービルSHC 525	
可燃性液体類	SE-P46	HF-46	UF-46	S3 MT-46		
荷姿	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	
56	スーパーハイランド SE-56		スーパーエポック ES-56			
荷姿	20L 200L		20L 200L			
68	スーパーハイランド SE-68	スーパーハイドロ	スーパーエポック ES-68	テラス	モービルSHC 526	
可燃性液体類	SE-P68	HF-68	UF-68	S3 MT-68		
荷姿	20L 200L	200L	20L 200L	20L 200L	20L 200L	

可燃性液体類: 引火点250℃以上を有する潤滑油

※1 シェル・テラス S4 ME : 合成油系高引火点型

※2 モービルSHC500シリーズ : 合成油系

2013年9月改編